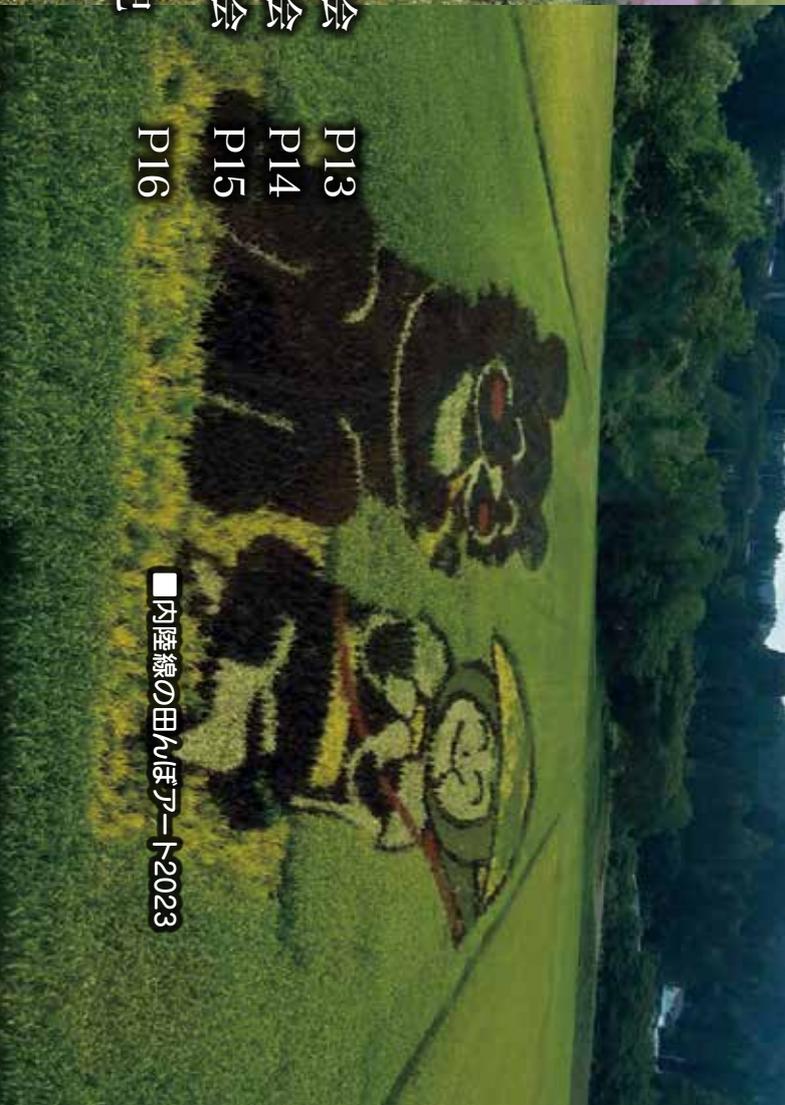
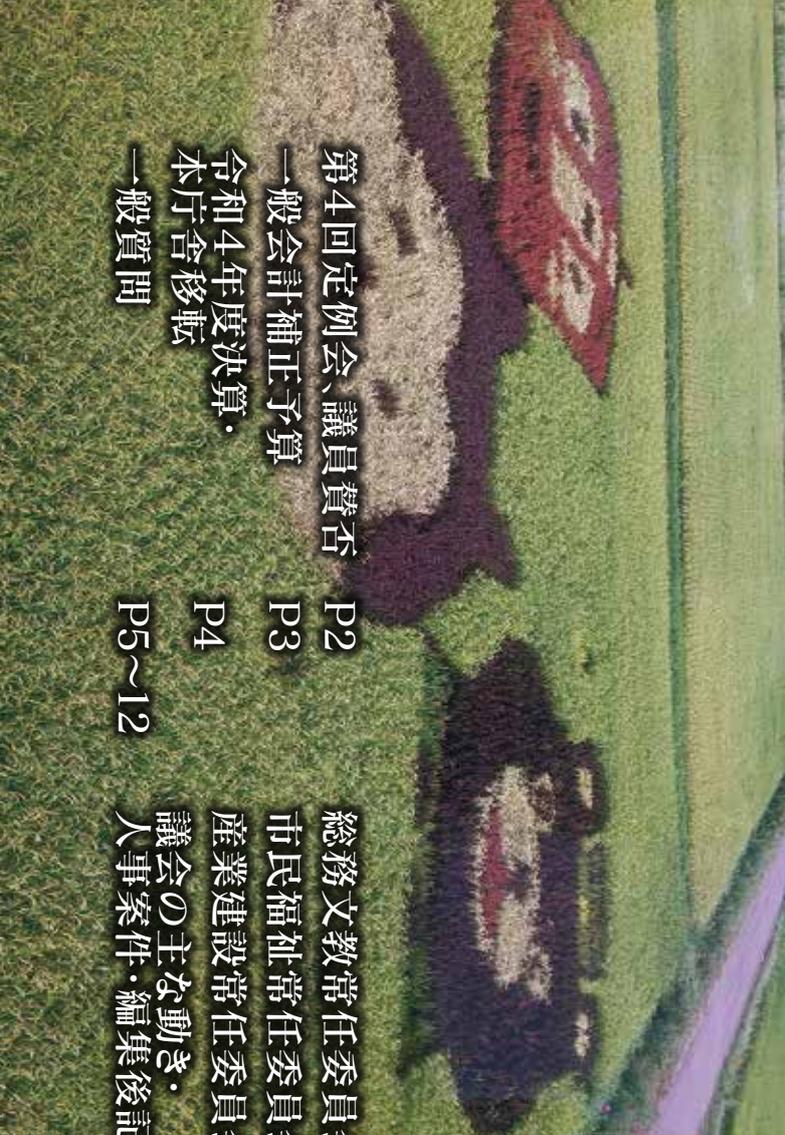
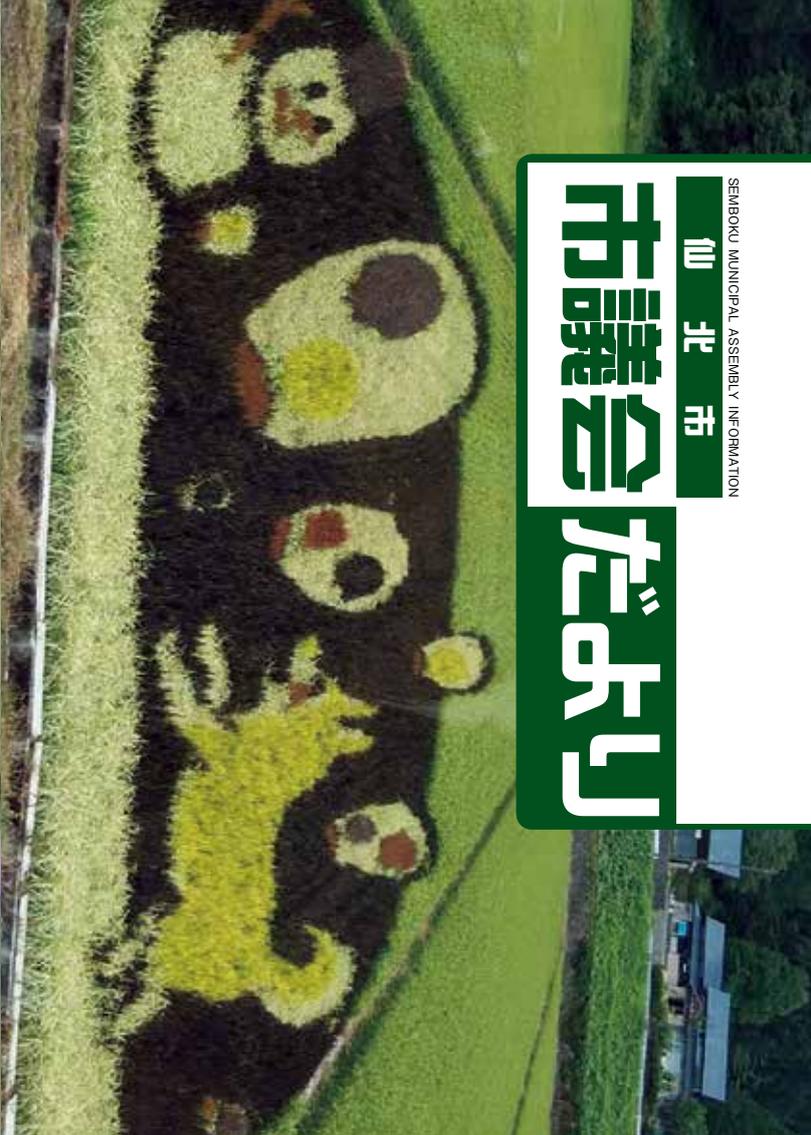


市議会だより



第4回定例会、議員賛否
 一般会計補正予算
 令和4年度決算・
 本庁舎移転
 一般質問

P2
 P3
 P4
 P5～12

総務文教常任委員会
 市民福祉常任委員会
 産業建設常任委員会
 議会の主な動き・
 人事案件・編集後記

P13
 P14
 P15
 P16

— 第4回(9月)定例会 —

2つの議案の撤回要請があり 議会運営委員会で撤回を決定!

一般会計補正額 1億2,625万4千円を可決 累計210億706万8千円に

令和5年 第4回定例会が9月4日から9月29日まで26日間の会期で開催され、7月の大雨による災害の復旧や被災者支援などを盛り込んだ令和5年度一般会計補正予算(第6号、第7号、第8号)や令和4年度歳入歳出決算認定など、39件の議案すべてが可決・認定・同意されました。初日には、2つの議案が異例の撤回となりました。

最終日には、追加議案として一般会計補正予算(第9号)や議員提出議案の意見書が提出され、すべて可決されました。

■第4回定例会で承認・可決・同意された議案

- 専決処分の報告について(市道のくぼみでタイヤとホイールを損傷した損害賠償の報告)
- ◇専決処分の承認について(7月の大雨による急を要する災害復旧費の一般会計補正予算(第6号)の承認)
- ◇令和5年度仙北市一般会計補正予算(第7号)(大雨災害復旧費(農業施設、林道他))【初日採決】
- ◇仙北市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市印鑑条例の一部を改正する条例制定について(コンビニでの証明書発行がスマホでも可能になる)
- ◇仙北市財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例の一部を改正する条例制定について(時価より低い価格で譲渡することができる項目を追加)
- ◇仙北市角館駅前広場観光振興施設条例の一部を改正する条例制定について(駅前駐輪場への電動キックボードの取扱いについて)
- ◇令和5年度仙北市一般会計補正予算(第8号)
- ◇令和5年度仙北市介護保険特別会計補正予算(第3号)(県からの補助金あり)
- ◇令和4年度仙北市一般会計歳入歳出決算認定について
- ◇令和4年度仙北市集中管理特別会計歳入歳出決算認定について
- ◇令和4年度仙北市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ◇令和4年度仙北市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- ◇令和4年度仙北市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ◇令和4年度仙北市生保内財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- ◇令和4年度仙北市田沢財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- ◇令和4年度仙北市雲然財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- ◇令和4年度仙北市病院事業会計決算認定について
- ◇令和4年度仙北市温泉事業会計決算認定について
- ◇令和4年度仙北市水道事業会計決算認定について
- ◇令和4年度仙北市下水道事業会計決算認定について
- ◇仙北市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて(再任1名)【初日採決】
- ◇仙北市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて(新任3名 再任14名)【初日採決】
- ◇令和5年度仙北市一般会計補正予算(第9号)【最終日に追加】
- ◇令和5年度仙北市生保内財産区特別会計補正予算(第3号)【最終日に追加】
- ◇令和5年度仙北市温泉事業会計補正予算(第1号)【最終日に追加】
- ◇仙北市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて(新任3名)【最終日に追加】
- ◆議員提出議案 大曲簡易裁判所につき裁判官の再配置を求める意見書【最終日に追加】
- ◆議員提出議案 森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書【最終日に追加】

議決結果/議員賛否 令和5年 第4回 仙北市議会定例会(招集日:令和5年9月4日 最終日:9月29日)

凡例: 賛→賛成 反→反対 退→退席 欠→欠席(議長は法律で定める特定のケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	会派及び氏名 件名	議決月日	議決結果	議員													
				蒼生会 小林幸悦 真崎寿浩 高橋輝彦 武藤義彦 青柳宗五郎 門脇晃幸	公明党 熊谷一夫	共産党 平岡裕子	無党派 高久昭二 荒木田俊一 田口寿宜 澤田雅亮 中村和彦 小田島広仁 西宮三春										
議案第90号	令和5年度仙北市生保内財産区特別会計補正予算(第2号)			議案撤回													
議案第91号	令和5年度仙北市温泉事業会計補正予算(第1号)			議案撤回													
議案第92号	令和4年度仙北市一般会計歳入歳出決算認定について	9/29	認定	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	反	反	反	賛	賛	賛	賛
議案第94号	令和4年度仙北市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9/29	認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第104号	仙北市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	9/4	同意	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第122号	令和5年度仙北市一般会計補正予算(第9号)	9/29	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第123号	令和5年度仙北市生保内財産区特別会計補正予算(第2号)	9/29	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第124号	令和5年度仙北市温泉事業会計補正予算(第1号)	9/29	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛

*全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

7月豪雨の災害復旧事業費 2億3,739万円を可決! 早期復旧と支援を!

令和5年度一般会計補正予算(第6号・第7号・第8号・第9号)の主な事業

現年補助公共土木施設災害復旧事業費	1,650万円	大雨災害復旧(黒森橋) 査定設計委託費など
公共土木施設災害復旧事業費	4,964万円	大雨災害復旧(市道12路線、河川11、橋梁2、その他6)
河川公園災害復旧事業費	463万円	大雨災害復旧(松木内河川公園、桜並木公園)
農業用施設災害復旧事業費	5,008万円	大雨災害復旧(大沼農村広場、農地・農業施設203ヶ所)
現年補助災害復旧(農業用)事業費	5,523万円	大雨災害復旧(小黒沢ため池)
林業施設災害復旧事業費	4,910万円	大雨災害復旧(林道45路線)
現年補助災害復旧(林道)事業費	1,115万円	大雨災害復旧(林道堤沢線)
高齢難聴者補聴器購入費助成事業費	15万円	当初予算30万円(10人分)を5人分増額補正
低コスト技術等導入支援事業費補助金	547万円	農業の省人化・低コスト化に必要な機械・設備の導入支援
角館婦人会からの寄付金を活用	300万円	①角館中学校でパイプ椅子を購入 ②角館小学校で電話設備を更新 ③白岩小学校で学習アプリケーションを導入
雪寒地域建設機械整備費	△6,666万円	除雪ドーザ(2台)を国の交付金で購入予定だったが不採択
社会資本整備総合交付金事業費	△1億456万円	道路の改良等を国の交付金で実施する予定だったが不採択

予算常任委員会での主な質疑

◆高齢難聴者補聴器購入費助成の増額補正について

質問 15万円の増額補正であるが、今年度はこれで打ち切るのか。また、これまで助成した方には障害手帳の保有者はいるのか。

答弁 当初予算は、3万円上限で10人分の30万円である。本定例会での5人分の増額補正で今年度の申請受付を終了する予定であるが、状況により財政課に相談したい。障害者は別の助成制度があるため対象外である。

◆低コスト技術等導入支援事業とは何か

質問 低コスト技術等導入支援事業費補助金の内容を伺う。また、対象となる農業者について伺う。

答弁 水稻を生産する農業者がスマート技術等を活用し、低コスト化を図るための農業用機械の導入を支援するもので、導入機械は直進機能付きトラクター1台で、事業実施主体は角館地区の合同会社青柳農園である。

◆雪寒地域建設機械整備費及び社会資本整備総合交付金事業費のマイナス補正で影響はないか

質問 雪寒地域建設機械整備費△6,666万円は、除雪ドーザー2台の購入ができなくなったようだが、だいぶ老朽化した除雪機械を目にするが、今年度の除雪に支障は出ないのか。

答弁 市所有の除雪機械は老朽化が進んでおり、計画的に更新したいと考えているが、ここ数年国の交付金が不採択である。除雪機が故障の際は、各地区にある予備車に対応可能であり、今年度の除雪に支障はない。

質問 社会資本整備総合交付金事業費△1億456万円により、工事が中止となる道路改良等の事業は何か。

答弁 市道観光線及び市道荒屋敷下延線の舗装補修工事と、角館地区と白岩地区の流雪溝整備事業である。

7/14～16の大雨による仙北市内の被害状況

被害種別	被害状況	被害額(見込み)
住宅被害	・床上浸水(8棟) ・床下浸水(49棟)	-
農地等被害	・農地の冠水・浸水・土砂堆積(約264.5ha) ・農業機械の浸水(1件)	5,185万1千円
農業施設被害	・水田畦畔の崩落等(78ヶ所) ・小黒沢ため池損壊(1ヶ所) ・水路の損壊(66ヶ所) ・農道の損壊(9ヶ所) ・大沼農村広場・農道の橋(3ヶ所) ・頭首工の損壊(7ヶ所)	8,653万2千円
林道被害	・林道下高野線ほか(45路線) ※主に路面洗堀や路肩の崩落	5,074万1千円
公共土木施設被害	・市道(2つの橋りょうを含む)(18路線) ・市管理河川(16河川)	※国、県に財政的支援を要請

令和4年度 決算認定なる!

①歳入総額 229 億 9,609 万円 ②歳出総額 224 億 4,470 万円 ①-②収支 5 億 5,138 万円

9月定例会では令和4年度の決算についても審査されました。各常任委員会での分科会審査を経て、予算常任委員会と本会議において各決算が賛成多数で認定されました。

令和4年度一般会計・特別会計決算収支状況

(単位：円)

区分	歳入①	歳出②	形式収支③ (①-②)	翌年度に繰り越す べき財源④	実質収支⑤ (③-④) 下段前年度	単年度収支	
一般会計	22,996,091,000	22,444,706,015	551,384,985	19,391,000	531,993,985 498,910,812	33,083,173	
特別会計	7,917,747,608	7,703,253,104	214,494,504	0	214,494,504 209,419,978	5,074,526	
特別会計の内訳	集中管理	3,978,184,861	3,978,184,861	0	0 0	0	
	国民健康保険 事業勘定	2,862,955,745	2,703,850,809	159,104,936	0	159,104,936 187,703,655	△ 28,598,719
	国民健康保険 神代診療施設	92,129,468	92,036,841	92,627	0	92,627 31,376	61,251
	後期高齢者医療	348,291,346	348,290,546	800	0	800 101,650	△ 100,850
	介護保険	465,990,163	465,795,070	195,093	0	195,093 80,093	115,000
	生保内財産区	104,039,974	68,318,848	35,721,126	0	35,721,126 10,658,959	25,062,167
	田沢財産区	53,444,362	35,096,894	18,347,468	0	18,347,468 9,133,063	9,214,405
	雲沢財産区	12,711,689	11,679,235	1,032,454	0	1,032,454 1,711,182	△ 678,728
総計	30,913,838,608	30,147,959,119	765,879,489	19,391,000	746,488,489 708,330,790	38,157,699	

令和4年度の農事組合法人等への支援について
質問 令和4年度に農事組合法人等へ国、県の補助金を含めどの位の支援をしたのか伺う。
答弁 農業者がスマート技術等を活用して、農業の省人化・低コスト化に必要な機械・設備の導入に1/2以内の支援がある。令和4年度は、農事組合法人等の6社に合計2,696万1千円をすべて県の補助事業で支援している。導入した機械は、直進機能付きトラクター(1台)農業散布用ドローン(2台)直進田植え機(2台)収量コンバイン(2台)フレコン対応乾燥機(1台)である。

田沢湖黒沢工業団地への企業誘致について
質問 令和4年度の企業誘致対策事業費における企業誘致活動の内容と、サテライトオフィスの誘致企業は角館駅前に2社が認定されているが、黒沢工業団地の今後の見通しを伺う。
答弁 東京にある県企業立地事務所にも市職員1名を派遣し、企業誘致に向けた最前線で活動している。黒沢工業団地には今のところ誘致の見通しは立っていない。企業懇談会などのトップセールス活動など、あらゆるチャネルを通じて企業誘致の取り組みを強化していく。

令和4年度
一般会計決算
予算委員会の質疑から

角館への本庁舎移転の方針が提案される！ 市民に丁寧な説明を！

【計画の概要】

旧角館総合病院管理棟を改修して本庁舎とする(仮称：角館上野庁舎) (市長室、総務部、企画部、教育委員会、各行政委員会、議場を角館に移転)	令和7年9月
田沢湖・西木庁舎は市民センターを配置し出張所とする	令和7年9月
田沢湖第2庁舎、田沢湖総合開発センター、田沢湖保健センターは解体する	令和8年4月以降

【概算事業費及び財源】 ※旧角館総合病院の管理棟を本庁舎にすることで病院棟の解体も合併特例債を活用できる。

事業名	財源	事業費総額	市の負担額	工期
角館上野庁舎(仮称)改修工事	合併特例債	12.1億円	4.1億円	R6年10月～R7年9月
旧角館総合病院 病院棟解体工事	合併特例債	5.6億円	1.9億円	R6年4月～R6年11月
田沢湖庁舎(出張所)改修工事	合併特例債	0.5億円	0.2億円	R7年10月～R8年3月
田沢湖第2庁舎等解体工事	過疎債	1.7億円	0.5億円	R8年4月以降
合計		19.9億円	6.7億円	

自主防災組織の必要性について

蒼生会 真崎 寿浩 議員



市長 非常に重要な地域組織であり組織率向上を強化したい

7月の豪雨災害対応について

質問 危機管理体制はどうだったか。

答弁 現在、総合防災課長と危機管理監を兼務している。総合防災課長は、総合防災課内の職務の統括を行い、危機管理監は、各部署との連携、危機管理の統括とそれぞれの職務が別れている。この二役の職務遂行は支障をきたす場面もあることから、今後、兼務ではなく単独の職務とするように検討する。

質問 初動と連絡体制についてはどうか。

答弁 豪雨前日より災害連絡室を立ち上げ、7月15日の15時には災害対策本部へ格上げし、その後の情報収集、様々な情報発信を行い、市民の避難行動へ繋がったと考える。しかし、市民への情報伝達のタイムラグについて、できる限り改善できるようオペレーションの見直しをしている。

質問 ハード面の整備についてはどうなのか。

答弁 被災した入見内川や刺市川の県管理河川については、早期河川改修事業の完成を要望し、地下道の冠水につ

いては、排水能力を超える流入量がある場合、適宜、通行止め対応をしていく。ハード面での問題を解消することで住民の安心・安全につながっていきたいと考えている。

自主防災組織の必要性について

質問 災害に強いまちづくりには、隣近所で力を合わせて取り組む「共助」が重要であると考えるが、仙北市の自主防災組織の現状はどうか。

答弁 災害時には、公助がいくまで自分達の命を守って頂く「自助」「共助」が必要であると思っている。自主防災組織の令和5年現在の組織率は14.85%であり、まだまだ低い組織率であるが、7月豪雨の際は、被害情報を頂くなどとても重要な地域組織である。今年度は新たに組織化への相談もあることから、さらなる組織率向上を強化したい。

質問 熊の目撃情報が急増しているが、行政側から自主防災組織に熊の出没情報は発信されているか。

答弁 (危機管理監) 昨今、熊の出没情報が頻繁であるが、行政連絡員の連絡網に特

化した形では発信されていない。

ハザードマップについて

質問 令和3年11月に全戸に配布され、2年しか経っていないが、見直しが必要な部分はないのか伺う。

答弁 前回は、平成20年に作成し、各種の見直しが必要になり令和3年の改定に至っている。今後は、記載内容の大幅な見直しや、県からの各種の見直し情報があれば改定の検討が必要になると考えている。

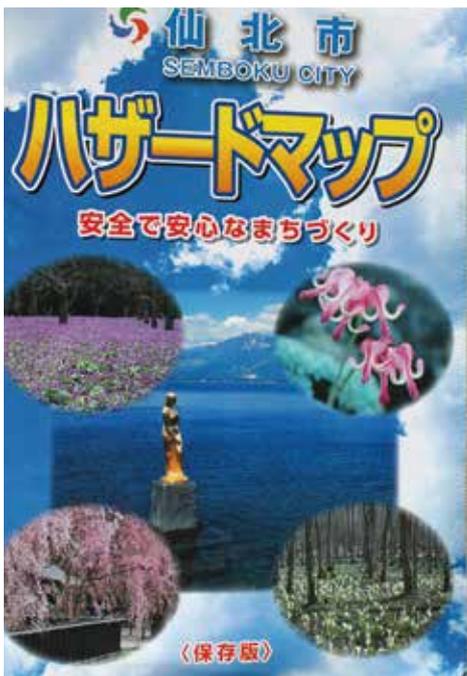
質問 ハザードマップを全市民に有効に活用していただきたいという思いを強く持っているが、家庭での利活用の実

態調査等をしたことはあるか。

答弁 (危機管理監) 家庭、地域においてどのような活用がされているかという数字を出せる調査はしていないが、昨年、生保内中学校の学年登山が悪天候のため中止となり、ハザードマップを活用した防災学習を行った。生徒には学んだ内容を家庭に持ち帰って、ハザードマップを開いて、家族に話してもらおうといった活動を行っている。

また、行政連絡員会議でも要望があれば地域の集落会館等に配布するなど、現在の在庫数を有効活用しているところである。

(澤田雅亮記)



■家族の命を守るために皆で見て欲しいハザードマップ



公明党 熊谷一夫 議員

全ての庁舎を「書かない窓口」にするべきではないか

市長

積極的に情報収集し市民が利用しやすい窓口にしたい

次の世代に向けた庁舎機能の再々編について

質問 旧角館総合病院管理棟を本庁舎にする提案についてであるが、3年前に角館庁舎が完成し、西木庁舎の改修、田沢湖庁舎の耐震補強やエアコン設置などを行ったばかりであり、市民からは「ハコモノばかりでなく、市民生活向上にお金を使って。」との切実な声がある。これまでの、旧病院棟は解体して売却し、旧管理棟は、公文書センターにするとした計画はどうなったのか伺う。

回答 合併特例債を活用しての旧角館総合病院の解体と本庁舎にする旧管理棟の改修は、30年後の将来を見据えた持続可能な行政機構を構築するためである。市民の声は重く真摯に受け止め、ご理解いただいたために最大限努力する。

また、旧病院棟跡地は売却額より解体費が高いので駐車場にする。公文書センターは、検討委員会で見送るこ



■本庁舎の移転が提案された旧角館総合病院管理棟（3階建て）

ととした。

質問 総事業費19・6億円のうち6・6億円は次世代への借金となり、負担がさらに大きくなる。また、市の職員数も大幅に減少するのに、角館に二つの庁舎が必要なのか疑問である。さらに、議場だけを田沢湖庁舎に残す意図はどこにあるのか伺う。

回答 30年後には角館庁舎一つにまとめられると考えているが、15年後には整理・解体が必要となる田沢湖、西木庁舎を考慮すると、財政的に最も有利な手法で旧病院の解体も可能な旧管理棟への角館本庁舎移転が必要である。議

場については、事業費抑制のためだったが、現在、旧管理棟3階への設置を調整している。

各庁舎に「書かない窓口」の開設を！

質問 行政のデジタル化を進めるうえで、将来的には来庁不要の市役所を目指すべきである。

今、全国の自治体で「書かない窓口」が増えている。各種申請書の記入が不要で、市民は手続きが簡単になり、職員の事務負担軽減にも繋がるとして好評を得ているそうである。仙北市も各庁舎で「書かない窓口」を開設するべきではないか。

回答 「書かない窓口」については、昨年度熟考し、当市では、窓口に行列ができる状況が殆ど無く、費用対効果の視点から導入を見送った経緯がある。今後、他市町村の取り組みを情報収集しながら、市民が利用しやすい窓口の在り方を検討していきたい。

ICTシステムで罹災証明書交付の迅速化を！

7月中旬の大雨による

住宅被害が多かった秋田市では、支援を受けるために必要な罹災証明書の交付に数ヶ月を要している。本市の罹災証明書発行の現状と被害建物調査の現状を伺う。

また、災害時の現地調査計画の策定は万全なのか伺う。

回答 罹災証明書は11件発行した。被害建物調査は93件実施した。また、床上・床下浸水などを調査するため、家屋調査班を編成し、床上浸水世帯に見舞金を支給している。

質問 大規模な自然災害が多発している状況で、罹災証明書の迅速な発行と職員の業務の効率化を目指して、全国的にシステム化が進んでいる。損害割合算出や現地での被害度判定が自動化し、被災建物調査のばらつきも防止できる優れたもののシステムであるが、仙北市での導入の考えはないか。

回答 有効なシステムであるが、仙北市は現在の調査方法で支障はないと考えている。システムを導入している自治体の情報を収集し検討していきたい。

(高橋輝彦記)

白黒印刷の「広報せんぼく」を見やすい広報にする気はないか

日本共産党 平岡 裕子 議員



市長

必要最小限の経費で見やすい広報にするため前向きに検討したい

本庁舎移転事業と市民が望む施策について

質問 本庁舎を角館町に置くことで、物理的な距離を縮め、職員の移動時間等における時間外手当の削減や災害時等のトラブルに迅速に対応できるとしているが、果たして、本庁舎移転が解決策になるのか伺う。

答弁 現在の移動距離が大幅に短縮され、公用車の削減や燃料費、移動時間で生じる残業費用など、概算で年間約650万円以上の削減効果が見込まれる。また、職員の通勤手当が年間約300万円減少する。庁舎間の移動時間を給与換算すると、約930万円もの削減効果がある。

質問 合併特例事業債を活用しても、償還は市民の負担増ではないか。また、円安・物価高騰により事業費が膨らむのではないか。

答弁 合併特例事業債は、市の実質負担が事業費の33.5%であり、市民の負担は増えるが、今回の提案は、財政的に最も有利な手法で、課題である老朽化施設の改修や解体が可能である。昨今の物価高騰など、ある程度余裕を持

たせた事業費である。

質問 地域公共交通は、市民の意見を聞きながら計画策定に至ったが、田沢湖・角館間の移動手段として、利便性の良い交通手段を実現していく考えはないか。

答弁 田沢湖と角館間のバス路線が廃止となった影響をできるだけ抑えるため、市民バスの向生保内線たちこちゃんバスを刺巻駅まで延伸している。今後も、デマンド化による運行範囲拡大を検討するなど、市民の使い勝手の良い公共交通機関の整備に努めたい。

質問 市の財政の厳しさは、発行が月1回になり、白黒印刷となった「広報せんぼく」にも見て取れる。「月1回なら見やすいカラーにしてくれ。」との市民の声にこたえてくれないか。

答弁 来年度に向けてモノクロ2色、フルカラーなどの印刷方法や紙・インク等の価格状況を確認



■来年度にはカラー印刷復活が期待の「広報せんぼく」

し、必要最小限の経費で見やすい広報の作成を前向きに検討する。

安心して子育てできる支援を

質問 学校給食は、食育という教育の一環であり、全国的にも無償化の自治体が増増している。仙北市も無償化にするべきではないか。

答弁 (教育長) 小・中学校の給食費の無償化には、約7,500万円の財源が必要である。国でも学校給食費無償化の具体的方策を打ち出すとしており、その動向を見極めて検討していきたい。

質問 国民健康保険税について、収入のない18歳以下は、全国的に無料化の動きが顕著である。仙北市でも6億円以

上の基金で均等割りを無料化できないか。

答弁 市の国保制度は国・県からの様々な交付金等で運営しており、市独自の軽減措置は、交付金等の減額査定対象となり、結果的に財政を悪化させ、被保険者の負担増加を招く恐れがある。基金は、今後の制度改正等での負担増の抑制に計画的に活用していく。

体育施設にエアコン設置を

質問 今年は猛暑日が続く、体育館での運動中に体調を崩す子どもたちもいたそう。小・中学校の体育会や使用頻度の高い市立体育館、武道館にエアコンを設置できないか。

答弁 仙北市内の体育館は、ほとんど断熱工が必要であり、1体育館最低でも5,000万円が必要である。小・中学校については、経年劣化の校舎が多く、学校適正配置の方向性も踏まえて検討したい。市民会館と武道館は、現状としては難しいと考えている。

(真崎 寿浩 記)



田口 寿宜 議員

頑張る子どもたちを応援する
補助制度の見直しを

教育長

市関係部局と補助制度を検討する会を立ち上げ、
何らかの形で補助する体制を整えたい

頑張る子どもたちを応援しよう

質問 市内小中学校の部活動やスポ少では、上位大会に進出する際、市から補助金が出されるが、スポ少に登録していない競技団体には何も無い状況にある。市内小中学校の児童生徒であるので、公平性をもって、応援・支援する補助制度の見直しが必要ではないか。

答弁 (教育長) 子どもたちの活動を支援するためにも、市関係部局と補助制度を検討する会を立ち上げ、何らかの形で補助する体制を整えていきたい。

医療について

質問 一般的な入院・治療を完結できる圏域として、現行の8医療圏から、県北、中央、県南の3医療圏に再編される。本市の医療体制に変化は出てくるのか伺う。

答弁 県の指針では、人口減少が見込まれる中で医療提供体制を確保するための再編であるとしている。紹介等に関しては症状や状態、搬送の時間を考えると当面は現状のままと考える。安心・安全な医

療体制を維持するために、地域医療連携強化が重要になってくる。

質問 医療体制を維持していくためには、二つの市立病院経営のさらなる経営改善が求められる、専門のアドバイザーの派遣を受け、「経営・財務マネジメント強化事業」を実施した結果、どのような変化が生まれてきているのか。

答弁 病院で働くすべての職種で、現状や課題、目標などを共有でき、意識改革が進んでいる。両病院の役割や機能についても意見交換をして継続的な連携ができています。

二十歳の集いについて

質問 対象となる方への周知方法について、はがきでの案内をすべきと思うが見解を伺う。

答弁 (教育長) 来年の対象者で組織する実行委員会とも検討していく。

質問 当日、都合により参加できなかった方や家族の方、多くの市民の方と祝福を一緒にする上で、ライブ配信をしてはどうか。

答弁 (教育長) 来年度の実行委員会の方にも話しをしていきたい。

公園の環境整備について

質問 公園は老若男女問わず憩いの場として愛される場所である。草刈りがしつかりされていない所もある。地域の方々の協力をいただいて、草刈り藪払い等の作業が必要と思うが見解を伺う。

答弁 地域の方々のご協力をいかに得るのか、得やすくできるのか検討していきたい。

質問 生保内公園の環境整備が不十分で、ステージ周りに草が生い茂っている状態を、5月と8月に見かけた。近隣の方々や、だしのこ園の子どもたちが遊びに行ったりする場面を見ている。状況を確認して整備が必要ではないか。

答弁 (建設部長) 例年4月に、シ

ルバー人材センターと公園施設維持管理業務委託契約をして、11月上



何回も訪れたい公園整備を求めたい(写真は生保内公園)

旬までゴミ拾いや草刈り・トイレ清掃など、週2・3回の頻度で作業を行っている。現場や作業の確認を随時行っていく。

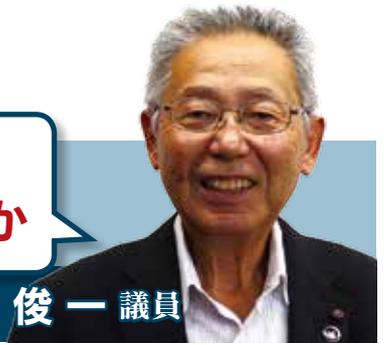
質問 仙北市公園長寿命計画の内容を伺う。

答弁 具体的には、公園施設の健全度を調査し、必要な修繕、改築の工法や時期を検討して、公園施設の長寿命化を図るものである。

(平岡裕子記)

初日の議案の取り下げは
あり得ないことではないか

荒木田 俊一 議員



副市長 私の認識が薄く、議案を取り下げることになり申し訳ありません

仙北市の防災対応の体制について

質問 ①7月の大雨の防災対応に問題点はなかったか。②避難指示等の情報伝達は問題なかったのか。③危機管理監が兼務で支障はなかったのか。危機管理監は、単独で配置するべきではないか。

答弁 ①下延地区への情報発信の遅れは大きな反省点であり、防災体制の見直し協議を行った。②情報収集、防災無線等の情報発信の処理に追われ、市民への迅速な情報伝達ができなかった。今後はオペレーションを見直し改善する。③危機管理監の兼務の支障は、業務が集中したことである。危機管理を統括する管理職と課長職のプレーヤーの二役の職務遂行は支障となり得るため、危機管理監の単独での職務を検討する。

農業の振興策について

質問 県でも土地利用型の稲作から園芸作物へと進めているが、本市の取り組みはどうか。また、夏秋イチゴ栽培をするストロベリーファームと結んでいる連携協定の効果は出ているのか。県主催の研修

が行われているが、農家へのバックアップ体制はどうか。

答弁 本市は、県事業の夢ある園芸産地創造事業補助金へのかさ上げや、県事業対象外の取り組みに、市単独の補助金を交付する支援を行っている。また、ストロベリーファームとの連携協定により、本市の農業振興及び雇用創出の効果がある。

今期、先行して夏イチゴ栽培に取り組んだ生産者は、標準以上の収穫量があり、全量ストロベリーファームが高単価で買い取ることから、所得向上が期待されている。

また、県主催の研修には企業の段階から参加し、栽培ハウスでの現地説明会や角館庁舎での就農勉強会などを開催し、参加農家のバックアップも行っている。

子ども議会について

質問 子ども議会を毎年開催できないか。さらに、中高生による少年議会はできないか。また、議会で出た

課題を具体的かつ積極的に取り組む必要がないのか伺う。

答弁 (教育長) 3年に1回の開催では子どもの市政参画意識を高めていくには不足であると考えているため、毎年2回の子どものサミットを実施している。中・高生による少年議会は、高校生の負担が大きく、本市において計画することはなかったが、今後遊佐町等の情報を収集し、実現の可能性について考えたい。

また、子ども議会の提案の具現化については、非常に重要であると捉えている。市当局にも子どもサミットに参加してもらい、良い提案には、担当課で予算化し、事業の実現を図ることに賛同を得ている。



1/11開催の第4回子ども議会に小中学校の代表24人が参加

度重なる行政事務のミスについて

質問 度重なる行政事務のミスに最高責任者の市長はどう思っているのか。

答弁 関係する方々にご迷惑をおかけしたことを改めてお詫び申し上げます。引継ぎ漏れや誤認、理解不足などが重なったことが原因と考えられ、職員の能力向上を図るための新たな研修等による人材育成に力を入れている。

質問 本定例会初日のいきなりの議案取り下げについて、生保内財産区が議決していないお金を、勝手に補正予算として議会に提案するなどあり得ないルールだ。財産区の管理会に出席した副市長はどのような認識なのか。

答弁 (副市長) 私の認識が薄く、議案を取り下げる運びになり、申し訳ございませんでした。

答弁 議案の取り下げという異例の対応の責任は、市当局のトップである私にあり、今後二度とこのようなことがないように再発防止に努める。

(西宮三春記)



高久昭二 議員

横町橋の欄干の取り換えができないのか

建設部長 予算の関係で、今のところは部分的な交換補修で対応する

財源確保・予算執行について

質問 財源確保、予算執行について、どのような考えを持っているのか伺う。

答弁 限られた予算で最大級の効果を求めることを大前提としており、歳出では事務事業の見直し、公営企業の健全化、人件費の抑制等による経費削減に取り組みつつ、将来の課題解決に繋がる事業に積極的に取り組んでいる。

厳しい財政状況が劇的に改善される見込みがあるとは言えず、今後も厳しい運営を強いられることが予想されるが、長期的な視野に立ち、真に必要なものにはしっかりと取り組みつつ、財政調整基金残高を確保した上で、安定した財政運営ができる状況を整え、市民生活に寄り添う、市民の立場に立った仙北市政を推進したいと考えている。

歳入では、ふるさと納税が10月の制度改正により寄付額減少の可能性があり、代替財源の確保が課題である。インバウンドも含め、交流人口の増加による、市内経済の活性化に取り組みことが企業の強化、個人の所得向上に繋がり、

市の財源確保に繋がると考えている。その他、事業実施に当たっては、国、県補助金等の財政措置を最大限活用していく。

質問 市長公用車の購入を検討しているようだが、代替公用車を使い、その分を市民生活に回すという考えはないのか伺う。

答弁 現在使用している公用車は14年を経過している。先日故障し、代替車を利用してしたが、修理し乗り続けていままっていない。

公用車の台数を減らしている状況であり、経費については圧縮していく方向で考えている。

市民サービスの向上について

質問 市民の要望や問題解決について「すぐやる課」的な部門を作っている市町村もあるが、地域センターの予算を増やし、市民のために頑張ることができないのか伺う。

答弁 (総務部長) 市民センターにスタッフを配置できれば市民の声にすぐ対応できると思うが、現実的に今はそのようなになっていない。

今年度、各市民センターに120万円の地域振興費を予算化しており、拡充という事務評価が出ているが、人事配置についてもデリケートな問題になるのでご理解いただきたい。

橋梁工事について

質問 下延大瀬蔵野橋が新設されたが、費用対効果、県道の連結等、今後の計画について伺う。

答弁 (建設部長) 費用対効果、利用状況等の調査は実施していない。架け替えにより橋梁の幅員が広がり、対面交通が可能になり、安全面で十分向上したと考えている。

県道までの連結については再検討させていただきたい。

質問 横町橋は桜の花見時期には観光スポットとして、たくさんのお客様が写真を撮られている。片側だけでも欄干を取り



■大規模改修は令和9年頃になる見込みの横町橋

換えることができないのか伺う。

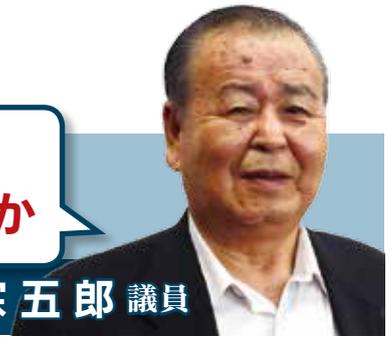
答弁 (建設部長) 高欄自体の交換だけでも多額の予算が必要になる。令和9年頃には横町橋の補修を予定しており、その時に交換する。

今のところは損傷の激しいところを数カ所確認済みなので、部分的に交換補修する形となる。

(小田島広仁記)

大雨による災害復旧について どう取り組むのか

蒼生会 青柳宗五郎 議員



市長 同じような災害が発生しないような復旧・復興に努める

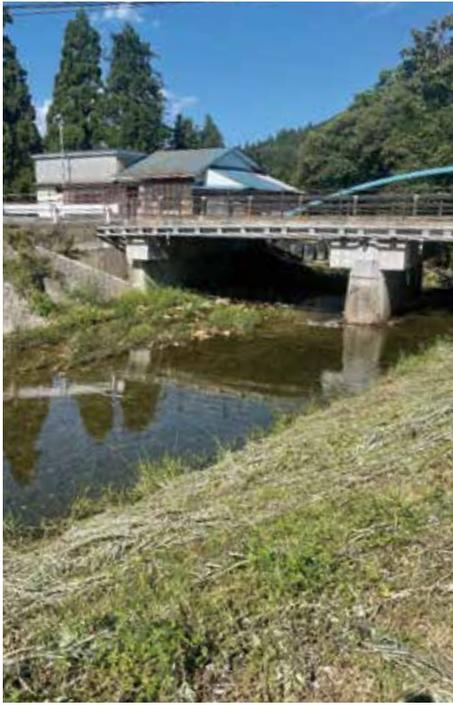
7月中旬の大雨災害 について

質問 大雨の被害に対して、国、県の協力を得ながら作業を進めていくと言っているが、どのように進めるのか伺う。

答弁 災害復旧についての進捗状況は、黒森橋の公共土木施設災害復旧事業を申請しており、災害査定を受けてから本格的な復旧作業を行う予定である。入見内川、刺市川など県管理河川の改修事業は、早期完成を要望していく。大沼農村公園の法面復旧工事は9月中旬頃の発注を目指し、設計積算中である。

小黒沢ため池の復旧については、10月上旬に国の災害査定を受けた後、11月上旬に工事発注して、年度内完成を目指す。市単独林道45路線については、測量設計業務を委託中で、10月中旬に工事発注し、年内完成を目指す。また、農業用施設災害復旧事業、農地・農業用施設小規模災害復旧費補助金については、補助金申請の詳細についてホームページ等で掲載予定である。しかしながら、元に戻すだけでは、同じような豪雨が来た際はまた同じ被害が起きるので、そのような状況にならないような復旧・復興をしていかなければならない。

最近の仙北市の豪雨災害を見ると、必ず入見内川という名前が出てくるので、具体的に自治体の方から、このような整備をしていただきたいというような絵を描き、地元の



■抜本的な改修が待たれる入見内川

代議士や県議の力も借りながら、そういった要望をしっかりと行っていくたい。

質問 市の災害対策等検討会議を開催し改善点を議論し、その結果を今後の災害対応に活かすとのことだが、どのように活かすのか伺う。

答弁 検討会議には、各部署から様々な改善点や検討課題が寄せられた。その中から現状ですぐに対応できる避難所の表示看板作成や備蓄品保管場所については、実施済みである。松木内小学校体育館への電話回線設置についても現在進めている。

その他の改善点については、庁内検討を重ね今後に備えていきたい。なお、備蓄品の保管場所は、西木庁舎の大型車庫に、主に食料品と避難所で使うパターション等を集約している。

質問 市内12か所の避難所について、トイレ、冷暖房、飲み水等の設備はどのようになっているのか伺う。

答弁 先日の災害対策等検討会議の中でも検証があり、クーラーが無い、トイレがまだ和式であるなど様々な環境が報告された。その中で、自

分の家族がそこに避難して安

心できるのか、快適に過ごせるのか、健康を害さないで避難できるのか、などを考えて環境整備していかなければならないと感じた。

各避難所のトイレは、使用可能だが、西長野交流センターは和式で利用しづらいとの要望があり、簡易洋式便座を準備している。冷暖房機器に関しては、エアコンが設置されていない避難所や暖房機器が不足している避難所は、状況に応じて扇風機やストーブで対応することになっている。冷房機器の不足している避難所については、整備に多額の経費が必要だが、今年の猛暑の実例もあったことから、設置について検討したい。

飲み水等の設備に関しても、避難所によって使用できない箇所があることから、避難所開設後にペットボトル入りの飲料水を搬入して対応したい。7月の庁内会議でも、避難所について改善要望が出されたので、早急に改善し、避難所を利用される方々のご不便を解消していきたい。

(中村和彦記)



議員 高橋輝彦 蒼生会

最終的な庁舎の将来像を
市民に示すべきではないか

市長

最終的には角館庁舎にまとめ
田沢湖・西木庁舎は15年後に解体する

市民の命を守る取り組みについて

質問 7月15日の大雨による入見内川氾濫により下延地区に発令した最高レベル5の「緊急安全確保」が発令されたが、住民に伝えるのが40分遅れた原因が情報の錯綜とのことだが、異常時に情報が錯綜するのは当たり前のことであり、この原因は角館庁舎が完成して、新たな分庁舎体制での防災訓練を行っていないことではないか。

答弁 下延地区への情報伝達が遅れたことと、議会への説明が不足していたことをお詫び申し上げたい。

答弁（危機管理監）コロナ禍もあり2年間、大規模な訓練を行っていない。来年度に大

曲仙北地区の大規模な防災訓練が仙北市で開催されるので、有効な訓練にしたい。

質問 今年は人里でのクマの目撃件数が多く、人身被害も仙北市で過去最高の6件発生している。そこで、クマから市民の命を守るため、選りすぐりの市の職員数名に狩猟免許を取得させ、目撃情報があればすぐに出勤できる「有害鳥獣対策特殊部隊」を市役所内に結成させてはどうか。

答弁 猟友会の高齢化や減少は切実な状況であり、猟友会と相談しながら会員の確保・育成を進めていきたいと考えている。その中で、我こそはという市の職員の応募がでてくるように推奨していきたい。

質問 仙北市において、お



クマに引き裂かれたホールクロップ

盆、お祭り過ぎの新型コロナウイルスの感染が急増しているようであるが、市民の感染予防意識を高めるために、「コロナ感染警報」を発令するなどして、市民に警鐘を鳴らしてはどうか。

答弁 感染する児童、生徒も増えており学校閉鎖、学級閉鎖の措置をしている。県や大仙保健所等の関係機関とも連携し、市民の皆さまへ感染を防止するための日頃の行動を情報発信していきたい。

持続可能な仙北市にする取り組みについて

質問 旧角館総合病院管理棟に本庁舎機能を移転させることについて、田沢湖・西木庁舎をそのまま使用するとなれば維持管理コストの増加を生まないのか。

答弁 田沢湖庁舎は、1階のみの使用で2階は貸し付ける予定であり、現在の4割は削減できる。西木庁舎は、ほぼ現在のままである。通勤手当等の削減を加味すると、維持管理コストは約260万円の増加と試算しているが、増加分を縮小できるように使用方法の見直し等を随時進めていきたい。

質問 角館庁舎に隣接する健康管理センター及び角館交流センターを改修・増築などして一体的な本庁舎にすることは検討しなかったのか。

答弁 両施設ともコンスタントに活用されており庁舎にした場合、代替施設の建設と駐車場の拡張も必要になることから、財政的に難しいと判断した。その点、旧角館病院跡地の活用であれば、駐車場整備や解体にも合併特例債を充当できる大きなメリットがある。

質問 本定例会の一般質問では、この庁舎機能の再々編についての質問が多くあり、その中で市長が答弁した、田沢湖庁舎と西木庁舎は15年後には解体し、さらに人口及び市の職員数も減少する30年後には旧角館病院管理棟を改修した角館上野庁舎も解体して、現角館庁舎の一つにまとまるとした将来像を市民への説明資料にも盛り込むべきではないのか伺う。

答弁 最終的には現在の角館庁舎に統合を前提として、田沢湖庁舎、西木庁舎は15年後に解体するという絵を描いている。

(荒木田俊一記)

総務文教常任委員会

今年度も全小・中学校に 新型コロナウイルス感染予防対策用品を一斉配備

9月定例会の総務文教常任委員会では、仙北市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく「仙北市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例制定について（マイナンバー法）」、「仙北市財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例の一部を改正する条例制定について」、令和4年度の決算認定、令和5年度の補正予算などについて審査されました。

補正予算では、災害対策総務費や補正財源のあり方などについて議論されました。

令和5年度 総務部・教育委員会関係の一般会計補正予算 主な内容

災害対策総務費	117万円	災害対策本部の防災服購入費
教育留学推進事業費	9万円	探求型学習短期留学へ参加する都会の子どもたちの共通経費等
交流センター管理運営費	157万円	交流センターの暖房設備の修繕費等
小学校保健特別対策事業費	585万円	小学校での新型コロナウイルス感染予防対策の換気、除菌等に係る備品等の購入
中学校保健特別対策事業費	450万円	中学校での新型コロナウイルス感染予防対策の換気、除菌等に係る備品等の購入
小学校管理費（白岩小学校）	102万円	児童の学力向上を図るための学習アプリケーションの導入経費
小学校管理費（角館小学校）	102万円	電話設備の更新経費
中学校管理費（角館中学校）	103万円	体育館で使用するパイプ椅子の購入
市民会館管理運営費	2万円	危険物取扱者乙類第4種の資格取得経費

令和4年度 一般会計歳入歳出決算認定審査の質疑から

仙北市育英奨学資金の今後の財源について

質問 育英奨学基金繰出金について、令和4年度は60件と年々増加傾向にある。この事業は、若者対策として継続していただきたいが、今後の財源について当局の考えを問う。

答弁 予算的な部分で担当課としても気になるころではあるが、財政課等にこの事業の良さや効果を強く伝えながら協議し、できるだけ継続していきたいと考えている。

ふるさと納税の返礼品作りについて

質問 ふるさと納税ふるさと便事業費について、様々なケースを想定し、米以外の魅力ある返礼品作りが必要と考えるが、どのように考えているのか。

答弁 総務省の専門アドバイザーからもアドバイスをいただき、様々な事業者に交渉に回っている。昨年からは始めた旅先納税については、事業者を回り加入促進を図っている。



■昨年からは始めた旅先納税の電子ギフト

ここが知りたい 議論のポイント

一般会計補正予算の主な質疑

災害対策本部の防災服購入について

質問 防災服の購入について、購入の経緯と対象者について。

答弁 7月の豪雨時の災害対策本部において各部局員がバラバラの作業着で他機関と市職員本部員の区別がつかないなどの弊害があった。

近年のゲリラ豪雨の頻発化等、対策本部設置が増えることが予想されることと、県

や国への要望時の会議などで防災服の着用を指定される場面が多々あるため、災害対策本部員の防災服を購入したい。

市民会館の危険物取扱者の資格取得について

質問 管理運営費について、消防の立ち入り検査で危険物取扱の資格が必要とのことだが、今後の対応について。

答弁 冷暖房を動かす冷温水発生機が重油を使っており、地下タンクの容量が5,000ℓであり、危険物取扱者乙類第4種の資格が必要となり、今回の補正はその受験にかかる費用となる。人事異動で資格のない職員が配置された場合、新たに資格を取りに行くことになる。

市民福祉常任委員会

今年度の新規事業

高齢難聴者補聴器購入費助成 5人分を追加補正

9月定例会の市民福祉常任委員会では、令和5年度一般会計補正予算及び令和4年度決算について審査されました。高齢難聴者補聴器購入費助成の追加予算や、マイナンバーカードでの各種証明書等を全国のコンビニで発行しているサーバー更新費用など多岐にわたり議論されました。

令和5年度 市民福祉部関係の一般会計補正予算 主な内容

通知・個人番号カード関連事務費	785万円	各種証明書をコンビニで発行しているサーバー更新費用
高齢難聴者補聴器購入費助成事業費	15万円	助成対象者が当初予算より増えたため追加の補正費用
新型コロナワクチン接種体制確保事業費	49万円	ワクチン接種会場に設置する車椅子とシルバーカーの購入費用

委員 市民の命と健康を守るための施策だと思いつつ、いざというときに足りない状況は防ぎつつ、あまり不用とならない予算執行をお願いしたい。

質問 保健衛生費の不用額約1億4,700万円について内訳はどのようになっているか。

答弁 予防費のワクチン接種に係る委託料であり、市としてもなるべく沢山の市民の方に予防接種を受けて頂きたいと考えており、それに対する十分な予算措置をしているところである。しかし、コロナ禍の状況もありワクチン接種の接種率が低調だったため不用額が発生している。今後は各部署のデータをしっかりと収集し適切な予算編成に努めていく。

質問 民生費の不用額が約2億8,900万円について、市民個人への支給が多い民生費であるが、市民にしっかりと行き届いているか。

答弁 民生費は、歳入として国庫金の占める割合が多く、予算要求時点で支給対象者や対象世帯が確定しておらず、交付後は増額できないため、余裕を持たせた予算要求であることが要因である。支給対象者には、個別の通知や様々な周知媒体により周知し、支給漏れないように努めている。

ここが知りたい議論のポイント
 令和4年度一般会計歳入歳出決算認定に関する主な質疑

多額の「不用額」がどのようになっているか

※歳出予算の経費の金額のうち結果として使用する必要が無くなった額

令和4年度病院事業会計決算を全会一致で認定

～病院の未収金制度の在り方と経営改善について議論～

病院事業会計の未収金に関する意見

未収金の中で、古いものは30年以上も前のものもあり、回収の見込みも不明である。他の債権と違い、不能欠損処理の取り扱いが難しいかもしれないが、決算としては、回収できるものを未収金として計上するのが普通であり、その判断がきちんできする方法を、今後検討し改善して頂きたい。

病院事業の経営改善に関する意見

純損失で3億2,800万円ほど。累積で66億2,500万円程の多額の欠損金となっている。人口減少とともに、ますます厳しい病院経営になると思うが、抜本的な病院の経営改善を図り、しっかりと市民の命と健康を守るとともに、両病院を存続して頂きたい。

慎重審査の結果、上記の意見を付して全会一致で認定すべきものと決定いたしました。



■経営改善に向けた「公立病院経営強化プラン」を策定中の病院事業

令和4年度 仙北市病院事業会計決算 単位：千円

	角館病院	田沢湖病院	合計
医業収益	3,039,737	580,796	3,620,533
医業費用	3,895,423	870,650	4,766,073
医業利益	△ 855,686	△ 289,854	△ 1,145,540
医業外収益	677,252	314,540	991,792
医業外費用	146,306	39,890	186,196
経常損失	△ 324,740	△ 15,204	△ 339,943
特別利益	6,866	4,801	11,667
特別損失	0	0	0
純損益	△ 317,874	△ 10,403	△ 328,277

産業建設常任委員会

今年度の社会資本整備総合交付金の配分率確定 対象事業費約1億7千万円が減額

9月定例会の産業建設常任委員会では、主に令和5年度一般会計補正予算や令和4年度一般会計歳入歳出決算認定及び令和4年度の温泉・水道・下水道事業決算について審査されました。一般会計補正予算では、社会資本整備総合交付金の配分率が確定し、事業費が1億7千万円程減額になりました。

令和5年度 観光文化スポーツ部・農林商工部・建設部関係の一般会計補正予算 主な内容

低コスト技術等導入支援事業費	547万円	米生産の省力化、省人化のスマート農機等の導入に支援事業費
農村施設管理運営費	243万円	上桧木内地区紙風船館広場舞台屋根のパネル撤去と屋根の修繕費
田沢湖駅前広場維持管理費	394万円	無散水消雪施設の放熱管洗浄にかかる委託費
上桧木内の紙風船上げ事業費	31万円	燃油代高騰により会場除雪・警備等にかかる委託費の不足分を増額
瀧前山森林公園等管理運営費	84万円	コテージのシャワー等の故障による修繕費
道路新設改良費	△1億456万円	社会資本整備総合交付金事業費（交付金配分率確定による減額）
雪寒地域建設機械整備費	△6,666万円	社会資本整備総合交付金事業費（交付金配分率確定による減額）

令和4年度 公営企業会計決算認定の主な質疑

温泉事業 滞納繰越が7戸で330万円あるが、一番古いものでいつからのものか。また、いつ頃完納予定か。

答弁 一番古いもので平成25年から令和2年度までの分で3施設分となっている。しかし年々分割で納めていただいております。何年までに完納か明言はできないが2施設は月々2万円、1施設は月々5千円ずつ納めていただいております。今年度はどこも不履行なく納めていただいております。

水道事業 山谷川崎地区と卒田地区の建設改良工事はどのような状況か。また既に工事が完了しているとすれば加入率はいくらか。

答弁 令和4年度で山谷川崎地区は工事が完了し給水が始まっている。卒田地区は令和7年度まで工事が実施予定だが一部完成した区間は給水が始まっている。工事が完了している山谷川崎地区に関しての加入率は、令和5年9月現在で人口割にして約33.3%である。

下水道事業 流域下水道維持管理負担金が600万円ほど増えているが何か特別な要因があるのか。

答弁 特別な要因はない。施工具合により、年度ごとの負担金額が変わる仕組みとなっている。

令和4年度 公営企業会計決算を認定 単位：千円

会計名	事業名	収入	支出	収支差引額	企業債残高
公営企業会計	温泉事業	47,344	47,399	△55	109,615
	水道事業	461,904	592,047	△130,143	3,755,089
	下水道事業	809,672	901,462	△91,790	5,444,999

ここが知りたい
議論のポイント

一般会計補正予算の主な質疑

田沢湖駅前広場維持管理費について
質問 過去に修繕した経緯があるのか。定期的に修繕するものなのか何う。

答弁 本格的な修繕は、昨年度から行っており、4～5年に分けて行う予定である。本管の修繕は当初予算に計上している。今回の補正予算は、本管よりも末端に詰まりがあることが判明し、洗浄して通りをよくするための委託費である。消雪状況の悪いところから優先して修繕していく。

農村施設管理運営費について
質問 紙風船館広場舞台屋根の現状と工事内容について何う。

答弁 屋根に太陽光発電パネル25枚が設置されており、落下して壊れているものもある。その関係もあり、屋根が雨漏りをしている。本事業ではパネル撤去、処分と雨漏りの修繕をする。

稲作低コスト技術等
導入支援事業費について
質問 申請件数、採択件数と採択された企業の理由を何う。

答弁 申請3件、採択1件である。県の審査にあたって、経営・営業規模、導入機械など採択基準となる加点ポイントが多かったことに加え、中山間地域であることも加点となったのではないかと思われる。

仙北市議会の主な動き 7月～9月

月	日	会議等名	欠席
7	2	仙北市消防訓練大会	
	5	全国市議会議長会 地方財政委員会	
	5	市民との意見交換会	1名
	7	行政視察受け入れ：茨城県ひたちなか市議会	
	10	行政視察受け入れ：東京都小平市議会	
	12	議会広報編集特別委員会	1名
	12	行政視察受け入れ：広島県広島市議会	
	18	議員有志行政視察：山形県遊佐町へ～19日	
	20	秋田県市議会議長会 定例会	
	21	議会広報編集特別委員会	2名
	26	秋田県市議会議長会 実行運動	
	8	4	議員全員協議会
9		秋田県後期高齢者医療広域連合議会	
15		仙北市二十歳の集い	
17		県南地域市議会議長懇談会	
18		産業建設常任委員会協議会	
22		市民福祉常任委員会協議会	1名
22		総務文教常任委員会協議会	
28		会派代表者会議	
28		議会運営委員会	
30		仙北市戦没者追悼式	
9	4	9月定例会～29日 【市議会だより P2～P4 参照】	2名
	13	議会広報編集特別委員会	
	15	仙北市林活議員連盟	
	26	議会運営委員会	
	27	議員全員協議会	

にしき園に介護用アシストスーツ導入

デジタル田園都市国家構想交付金を活用した事業

デジタルの力で地方の暮らしをより良いものにし、豊かな生活を実現しようとする国の施策に応募して、見事に選定され、にしき園の介護職員の腰の負担を軽減するために、アシストスーツが10着納品されました。

早速、市民福祉常任委員会で試着してみました。



◇意外に軽くてびっくりです。
片手で軽々持てます（約2kg）

この部分にモーターが入っています。これを背負います。
（充電式：連続4時間稼働）

この部分を膝の下（ふくらはぎの上部）に巻きます。

※定価が1着 38万2,800円（税込）



◇いざ、装着してコピー用紙を床から持ち上げました。

◇荷物そのものが軽く感じるわけではありませんでした。

※持ち上げる力は必要です。

◇特に、中腰の時にグイッと腰を支えてくれる感じです。

◇センサーが姿勢を検知してモーターの力で腰をサポートしてくれるそうです。

※これは楽です欲しくなりました。

（介護用として50～75%補助あり）

人事案件

（敬称略）

教育委員会委員

坂本 佐穂【再任】
（角館町水ノ目沢）

固定資産評価審査委員会委員

伊藤 一彦【新任】
（西木町上荒井字古堀田）

鶴田 和則【新任】
（田沢湖生保内字武蔵野）

菅原 一正【新任】
（角館町雲然荒屋敷）

農業委員会委員

藤川 健栄【新任】

高橋 健【新任】

門脇 富士美【新任】

藤村 隆清【再任】

千村 智生【再任】

荒木 浩章【再任】

藤村 永生【再任】

高村 紀章【再任】

大石 政敏【再任】

佐藤 孝典【再任】

鈴木 八寿男【再任】

青柳 良信【再任】

草玉 均孝【再任】

小藤 瑠璃子【再任】

齋藤 比左子【再任】

小島 比左子【再任】

編集後記

一般質問は、市民の声を市政に届ける絶好の機会であり、市民の顔が見えての質問には力が入ります。

8月4日に議員全員協議会が開催され、旧角館総合病院解体と旧管理棟に本庁舎機能を持たせる本庁舎移転案が当局から提示されました。旧角館総合病院は、観光地としての美観を損ねている。合併特例債を使うことで、旧病院解体と旧病院管理棟に本庁舎移転案は一石二鳥となる。市民からは、12月議会で本庁舎移転案の改正は拙速すぎる。丁寧な説明をしてほしい。市長は、「理解得られるように説明をし、意見も聞くが一人ひとりの意に沿わないこともある。最後は市長である私が決める。」と。

本庁舎の位置を変える条例改正には、議員定数の3分の2以上の議員の同意が必要。近年70人程の出生数から見てもあらゆる産業の担い手不足は目に見えています。今、とるべき施策は何なのでしょう。

（平岡裕子記）